授業科目　カウンセリング技法

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
伊東　正裕	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・必修・選択
	単位数	1	時間数	15

【一般目標：ＧＩＯ】

対象者の心理的な相談に適切に応ずるために、一般的なカウンセリングについて理解し、カウンセラーの基本的態度や基本的技法を習得する。

【行動目標】

1．心の相談のための面接法（カウンセリング）の意義を述べることができる。
2．カウンセラーの基本的態度と倫理について説明できる。
3．カウンセリングの構成要素とプロセスについて説明できる。
4．カウンセリングの基本的技法について説明し、実際に試みることができる。
5．専門家（の卵）として、実際に心の相談を受ける準備ができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考	担当教員
1	カウンセリングとは何か カウンセリング学習の意味・目的 心の相談と専門家の役割、など	1	講義	伊東正裕
2	カウンセリングの構成要素 聴くこと・見ること 対等な出会い・専門的関係 カウンセラーの倫理、など	2.3.	講義・実習	同上
3	カウンセラーの基本的態度 共感的理解 傾聴、など	2	同上	同上
4	カウンセリングの基本的技法（1） 受容・支持	4	同上	同上
5	カウンセリングの基本的技法（2） くり返し・明確化 質問	4	同上	同上
6	カウンセリングの展開 分かること・受けとめること、など	3	講義	同上
7	カウンセリングの実際 ロジャーズから学ぶこと	5	講義・ビデオ	同上

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	面接法	熊倉伸宏	新興医学出版社	２００２　１５００円
参考書	授業中に紹介する。			
その他の資料	毎回、プリントを配布する。			

【評価方法】
出席状況
レポート

【履修上の留意点】
授業中の実習（エクササイズ）には、積極的に取り組むこと。
この授業は、３年次のカウンセリング論の授業の基礎ともなるので、社会福祉学科の学生は、できるだけ履修することが望ましい。